

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第92期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社オーバル

【英訳名】 OVAL Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 谷本 淳

【本店の所在の場所】 東京都新宿区上落合三丁目10番8号

【電話番号】 (03)3360 - 5061

【事務連絡者氏名】 取締役兼常務執行役員管理部門部長 昨間 英之

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区上落合三丁目10番8号

【電話番号】 (03)3360 - 5061

【事務連絡者氏名】 取締役兼常務執行役員管理部門部長 昨間 英之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第91期 第1四半期 連結累計期間	第92期 第1四半期 連結累計期間	第91期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	2,817,658	2,161,530	11,999,522
経常利益又は経常損失()	(千円)	83,004	79,323	469,346
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()	(千円)	33,196	105,633	226,292
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	80,631	48,556	502,680
純資産額	(千円)	10,918,389	11,274,686	11,329,467
総資産額	(千円)	18,951,858	18,651,061	18,737,930
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額()	(円)	1.48	4.71	10.10
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	56.4	58.9	59.0

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第91期第1四半期連結累計期間及び第91期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、第92期第1四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当企業グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の大胆な金融緩和に対する期待などを受けて、株高の進行や円高の是正などをはじめ景気に緩やかな回復の動きが見られましたが、实体经济は回復までには至っておらず、全体として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当企業グループは、当連結会計年度を4年目とする中期経営計画「OVAL PHOENIX PLAN 2015」に掲げた、海外システムビジネスの拡大、液化天然ガス(LNG)及び新エネルギー市場への展開等の諸戦略を推進してまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間の受注高は2,262百万円で前年同四半期に比べ20.4%の減少、売上高は2,161百万円で前年同四半期に比べ23.3%の減収、利益面では営業損失は122百万円(前年同四半期は営業利益79百万円)、経常損失は79百万円(前年同四半期は経常利益83百万円)、四半期純損失は105百万円(前年同四半期は四半期純利益33百万円)となりました。

事業部門別の状況については、次のとおりであります。

(センサ部門)

国内での設備投資減少などの影響等により当部門の受注高は前年同四半期比12.1%減の1,395百万円、売上高は前年同四半期比23.2%減の1,298百万円となりました。

(システム部門)

受注高は海外大口案件の受注減少により、前年同四半期比58.8%減の265百万円となりました。売上高は前年同四半期比41.1%減の292百万円となりました。

(サービス部門)

顧客からのメンテナンス依頼はほぼ横ばいとなり、受注高は前年同四半期比1.9%減の597百万円、売上高は前年同四半期比10.0%減の566百万円となりました。

(その他の部門)

受注高、売上高共に前年同四半期比277.7%増の3百万円となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は150百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	26,180,000	26,180,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 100株であります。
計	26,180,000	26,180,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		26,180		2,200,000		550,000

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,775,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,394,200	223,942	
単元未満株式	普通株式 10,300		
発行済株式総数	26,180,000		
総株主の議決権		223,942	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式57株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーバル	東京都新宿区上落合 三丁目10番8号	3,775,500		3,775,500	14.42
計		3,775,500		3,775,500	14.42

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、至誠監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506,791	2,673,995
受取手形及び売掛金	2 5,000,223	2 4,632,250
商品及び製品	429,329	445,203
仕掛品	207,638	242,853
原材料及び貯蔵品	1,109,520	1,092,975
その他	334,955	369,703
貸倒引当金	4,160	3,799
流動資産合計	9,584,297	9,453,181
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,576,858	5,577,410
その他(純額)	1,788,534	1,800,409
有形固定資産合計	7,365,393	7,377,819
無形固定資産	155,568	153,436
投資その他の資産		
その他	1,642,781	1,676,796
貸倒引当金	10,110	10,172
投資その他の資産合計	1,632,671	1,666,624
固定資産合計	9,153,632	9,197,880
資産合計	18,737,930	18,651,061

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 1,061,284	2 948,186
短期借入金	1,256,897	1,190,495
未払法人税等	74,191	61,437
賞与引当金	256,268	372,089
損害賠償損失引当金	-	36,500
その他	874,801	911,575
流動負債合計	3,523,442	3,520,285
固定負債		
長期借入金	380,783	330,820
再評価に係る繰延税金負債	1,761,864	1,761,864
退職給付引当金	1,337,452	1,356,587
役員退職慰労引当金	49,484	24,025
環境対策引当金	13,801	13,801
資産除去債務	21,676	21,706
その他	319,957	347,284
固定負債合計	3,885,020	3,856,089
負債合計	7,408,462	7,376,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,000	2,200,000
資本剰余金	2,124,989	2,124,989
利益剰余金	3,900,429	3,682,773
自己株式	402,864	402,864
株主資本合計	7,822,555	7,604,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,144	133,138
土地再評価差額金	3,107,332	3,107,332
為替換算調整勘定	14,792	132,532
その他の包括利益累計額合計	3,232,269	3,373,002
少数株主持分	274,642	296,784
純資産合計	11,329,467	11,274,686
負債純資産合計	18,737,930	18,651,061

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,817,658	2,161,530
売上原価	1,822,447	1,367,745
売上総利益	995,210	793,785
販売費及び一般管理費	915,509	916,697
営業利益又は営業損失()	79,701	122,912
営業外収益		
受取利息	436	1,309
受取配当金	1,680	6,067
持分法による投資利益	1,813	-
受取賃貸料	4,035	3,736
為替差益	-	28,518
その他	10,196	13,582
営業外収益合計	18,162	53,213
営業外費用		
支払利息	5,892	5,537
為替差損	8,255	-
持分法による投資損失	-	3,476
その他	712	611
営業外費用合計	14,859	9,625
経常利益又は経常損失()	83,004	79,323
特別損失		
有形固定資産除却損	-	32
損害賠償損失引当金繰入額	-	36,500
特別損失合計	-	36,532
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	83,004	115,855
法人税、住民税及び事業税	73,406	62,884
過年度法人税等	1,458	10,587
法人税等調整額	32,185	60,079
法人税等合計	39,763	7,781
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	43,240	108,074
少数株主利益又は少数株主損失()	10,044	2,440
四半期純利益又は四半期純損失()	33,196	105,633

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	43,240	108,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,812	22,993
繰延ヘッジ損益	873	-
為替換算調整勘定	83,647	133,490
持分法適用会社に対する持分相当額	318	146
その他の包括利益合計	37,390	156,630
四半期包括利益	80,631	48,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,298	35,099
少数株主に係る四半期包括利益	22,333	13,457

【注記事項】

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)	
(損害賠償損失引当金)	
当第1四半期連結会計期間より、損害賠償請求に伴う今後の損失に備えるため、その交渉経過等に基づき当社が負担することとなる損失を見積り、必要と認められる額を計上いたしました。	
この結果、税金等調整前四半期純損失が、36,500千円増加しております。	

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の銀行借入等に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
OVAL THAILAND CO.,LTD.	26,374千円 (THB 8,200千)	21,228千円 (THB 6,700千)
OVAL OIL & GAS SDN BHD	60,111千円 (USD 638千)	63,003千円 (USD 638千)
合計	86,485千円	84,232千円

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	75,479千円	76,910千円
支払手形	91,785 "	41,059 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	71,798千円	75,036千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	112,022	5.0	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	112,022	5.0	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当企業グループは、計測機器等の製造・販売事業の他に、保険代理業務及び不動産賃貸業務がありますが、重要性が乏しいことからセグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	1円48銭	4円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	33,196	105,633
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	33,196	105,633
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,404	22,404

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、当第1四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 8 日

株式会社オーバル
取締役会 御中

至誠監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 立 田 三 彦 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 吉 原 浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーバルの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーバル及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。